

# KantetsuNews

2016年03月20日

いつも、関西鉄道をご利用いただきありがとうございます。

2016年3月12日（土）に開業した関鉄本線において、来年度のダイヤ改正により和歌山・白浜延伸及び関鉄大阪線直通運転の開始による車両不足を補うため、新車を導入します。

この度の新型車両は、JR西日本との共同開発で行っております。

客室内車内灯はLED化し、車内Wi-Fiを整備。ドア誤扱い防止装置や戸挟み検知機能、車両異常挙動検知装置などの安全装置を多数搭載しています。これによりさらなる安全機能・サービス機能を付加した車両となりました。車体の種別・行先表示器はフルカラーLEDとしました。さらに、津波等避難用品を車両両端部の扉横の座席に備え付けます。

全車両2016年度中の営業運転開始に向け、製造中です。今後、2両編成4編成、4両編成14編成計64両を導入し、快速等の優等列車から普通まで運用する予定です。

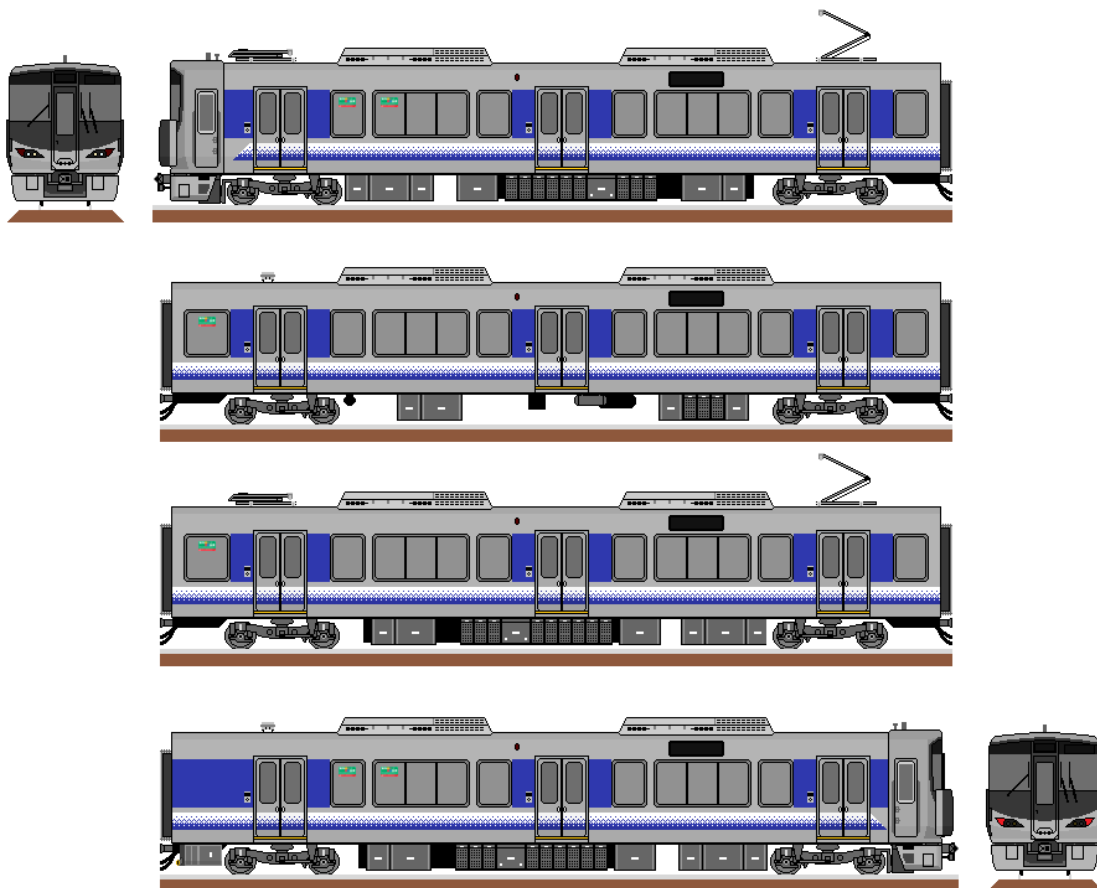
## 車内外観

- ・前照灯はHIDを採用し、内側はHID式フォグランプ（黄色）にしました
- ・車体の種別・行先表示器のすべてフルカラーLEDを採用
- ・車体塗装をリニューアル
- ・半自動ドアシステムを追加し、ドア開閉ボタンを設置

## 車内設備

- ・車いす対応の大型トイレを奈良側先頭車に設置
- ・客用ドアガラスにUVカットの腹蔵ガラスを採用
- ・車内案内表示器を1両ごとに4カ所設置（関鉄西日本最大数）
- ・ドア周辺の座席は収納式補助席を採用
- ・つり革は黄色にし、優先座席は緑色に区別
- ・津波等避難用品

車両デザインイメージ（3月下旬に落成予定の第一編成 近畿車輛製）





車両間を行き来するための貫通扉を開けやすくする工夫



津波等避難用品も装備